内 分 泌 代 謝

科目責任者：麻　生　好　正（内分泌代謝内科）
文責：城　島　輝　雄

Ⅰ．前文

当科では，内分泌代謝疾患全般について診療を行っております。糖尿病を中心に，血糖コントロール，糖尿病合併症精査，食事・運動療法を指導しています。その他，甲状腺疾患，副甲状腺疾患，クッシング病，褐色細胞腫，末端肥大症など内分泌疾患に対して精査治療と遺伝子検査などを行っています。

当教室の研究として，糖尿病合併症の成因として，酸化ストレス，サイトカイン，ケモカインの役割に関する研究しています。また，北関東では唯一の神経障害の成因・メカニズム・バイオマーカーの研究に注力しています。血管生物学的研究も糖尿病合併症，動脈硬化疾患，内分泌疾患を対象に行われています。

Ⅱ．受入可能人数

１～２名（３名以上の場合は，要相談）

Ⅲ．担当教員

・麻　生　好　正（主任教授：科目責任者）
・城　島　輝　雄（学内准教授）　　・毛　塚　温　美（実験助手）

Ⅳ．学習内容

・糖尿病の病態・診断・治療に関する講義（座学）
・実験の仕組み（座学）
・細胞培養液の作成（実習）
・細胞培養実習（実習）
・血管内皮反応の測定（臨床実習）

Ⅴ．学修の到達目標

・糖尿病の診断法と治療法について具体的に説明することができる。
・細胞培養と添加を操作し，実験データを得ることができる。

Ⅵ．成績評価の方法・基準

・口頭試問（一人15分）
・学習内容に関連した実技試験

Ⅶ．使用する教材・資料など

・教科書，参考書，学術雑誌など
・培養細胞，培養液，実験ノートなど（実験で使用する物品は当科にて準備します。）

Ⅷ．質問への対応方法

・質問への対応；城島もしくは毛塚へメールにてご質問ください。
　城島：jojima@dokkyomed.ac.jp
　毛塚：kezuka@dokkyomed.ac.jp
・直接のご質問などは，臨床棟７階　内分泌代謝内科　研究室　へお越しください。

Ⅸ．求められる事前学習，事後学習＊（　）内は所要時間の目安

・糖尿病の病態・診断・治療に関する講義；指定したテキストやレジュメを読んでおくこと。

予習（60分），復習（100分）

・実験の仕組み；復習として実験ノートをもとに振り返り実験データをまとめる。（120分）

Ⅹ．コアカリ記号・番号

D－12－4）－（5）

Ⅺ．課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法

講義中もしくは終了後に口頭試問により行う。

Ⅻ．卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

＊◎：最も重点を置くDP　　○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能，種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い，他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療，予防について原理や特徴を含めて理解し，他者に説明することができる。	○
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け，正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け，患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け，患者やその家族，あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料，情報通信技術〈ICT〉などの利用法を理解し，自らの学修に活用することができる。	
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち，専門的議論に参加することができる。	◎
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち，実践することができる。	◎
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し，自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け，自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎